

第5学年 国語科

まつさかしりつまつえしょうがっこう
松阪市立松江小学校



【学習目標】

- ・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「国語五 銀河」 「小学書写五年」	(光村図書) (光村図書)
副教材	漢字スキル・方眼式ドリル 漢字の力だめし よむYOMUワークシート	(教育同人社) (新学社) (読売新聞社)

持ち物

教科書	ノート	漢字ドリル
らくらくノート漢字	国語辞典	漢字辞典
習字道具	タブレット	

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことに印をしたり、わからない言葉を調べる等予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合しましょう。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】(☆は書写)

前 期	後 期
1. 銀色の裏地 ○きいて、きいて、きいてみよう 2. 見立てる／言葉の意味が分かること ○日常を十七音で ○みんなが使いやすいデザイン ○本は友達 作家で広げるわたしたちの読書 モモ 3. たずねびと	○よりよい学校生活のために 4. 固有種が教えてくれること 5. やなせたかしーアンパンマンの勇気 ○あなたは、どう考える 6. 想像力のスイッチを入れよう ○言葉を使い分けよう ○もう一つの物語 ○「子ども未来科」で何をする 7. 大造じいさんとガン

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点			評価の場面・方法		
技能・知識	言葉	文字を丁寧に書く。(書写)	書写の作品(毛筆・硬筆)	ノート	漢字ノート 漢字ドリル
		習った漢字を正しく書く。	単元テスト	漢字小テスト	ワークシート ノート 漢字ノート 漢字ドリル
		ことばのきまりが分かる。	単元テスト	ワークシート	ノートのまとめ方
思考・表現・判断	話す	筋道をはっきりさせて話す。	発言・発表	授業の様子	スピーチ
		思いや考えが伝わるように音読する。	授業での音読	音読カード	音読テスト
	聞く	話し手の意図を考えながら聞く。	発言・発表	授業の様子	単元テスト(聞くテスト) ノートのまとめ方
	書く	自分の考えや行動を豊かに表現する。	作文	ノートのまとめ方	ふりかえり ワークシート 単元テスト
	読む	内容を正確に読み取る。	発言・発表	授業の様子	単元テスト よむYOMUワークシート ノートのまとめ方
取り組み態度	主体的に学習に	主体的に国語の学習にとりくむ。 ・進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。 ・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げようとしたりしている。 ・学習したことや経験したことを活かして考えている。 ・学習したことをふまえて、次の課題を見つけたら、考えたりする。 ・これから学ぶことの予習をする。	発言・発表	授業の様子	読書の記録 スピーチ 作文 ふりかえり ノートのまとめ方 自主学習